

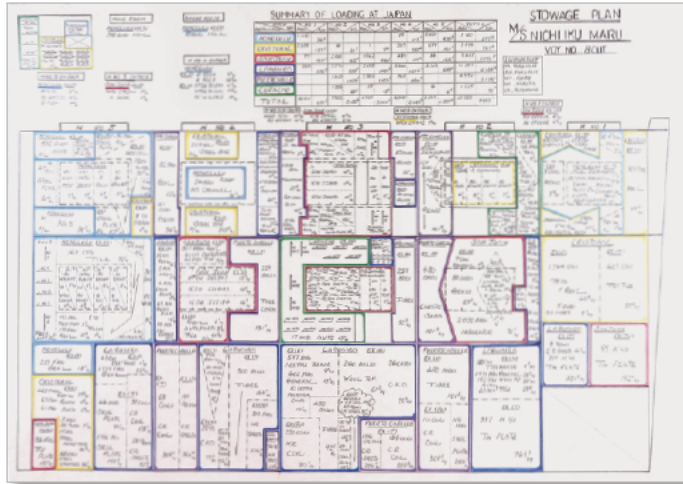
海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が
日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記を
めくるように積み重ねた歴史を紹介します

“ 在来船の積付図 (複製) ”



「日育丸」要目
全長：155.55メートル
総トン数：9,516.92トン
速力：16.8ノット
建造：林兼造船(株) 長崎造船所
竣工：1972年4月17日



在来船の積付図(複製)

船

倉内に積まれた貨物の場所を詳細に記載した
図のことを「積付図(Stowage Plan)」といいます。

図の右手が船首側で、ハッチ・デッキごとに貨物の積み
付け場所が描かれています。在来船とは、クレーンなど
自船の荷役装置を用いて直接貨物を積み下ろしする従
来型の貨物船のことで、今でもコンテナに収まらない貨
物の輸送などに用いられています。

船舶による貨物輸送では、その貨物の運搬に適した
船を手配した後、貨物の積付図を作成して配置を検討
します。その際、船の安全を最優先にするため、船の傾
きを最小限にするよう重い貨物を中央に寄せる、作業
の安全と効率化を図るため積み下ろし作業がやりやす
い場所にする、などの工夫をします。

この積付図は、1974(昭和49)年の「日育丸」の第8
次往航用に作成されたものです。オリジナルの退色が著
しいため、当館では現在、複製を展示しています。

「日育丸」は、1972(昭和47)年に大日海運(株)の船
として竣工した貨物船(在来船)で、竣工後、NYKとの
共有船として、ホノルル(米国)経由の中南米航路に配船
されました(1979(昭和54)年に大日海運へ売却)。

この図には、荷役の概要のほか、ハッチ番号ごとに目
的地別の積み荷の種類や量などが詳細に手書きで書き
込まれています。さらに見分けやすいように、目的地別
に色分けもされています。

積付図は、現在はコンピューターを用いて作成されま
すが、この手書きの図からは、船の安全と作業効率のため
に先人たちが苦労してきた努力の軌跡がうかがえます。

問い合わせ

日本郵船歴史博物館

- 所在地：神奈川県横浜市中央区海岸通3-9
- 電話：045-211-1923
- 開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館：午後4時30分)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 臨時休館日：7月6日(火)～9日(金)

- 入館料：一般400円、
シニア(65歳以上)・中高生250円、
小学生以下無料
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)
- ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>